

## 令和7年12月定例記者会見

■日時:11月25日(火) 午後1時30分

■場所:4階特別会議室

### ○会見項目

#### 《施策》

1. 市職員公共交通利用促進プロジェクト (公共交通推進課)

#### 《催事等》

1. 第 54 回宮古鮭まつり (観光課)  
2. 第 17 回宮古地区学生研究・意見発表会 (企業立地推進課)  
3. 第2回市民交流フェス (市民協働課)  
4. 宮古うみねこ丸「令和8年初日の出クルーズ」 (観光課)  
5. 令和8年宮古市 20 歳のつどい (生涯学習課)

### ○会見内容

別紙資料のとおり。

### ○記者との質疑

#### «施策1. 市職員公共交通利用促進プロジェクトについて»

朝日新聞

公共交通の利用について、普段から職員に呼び掛けているのか。市職員のうち、公共交通を利用して通勤している割合はどの程度か。公共交通の利用促進は、市としての使命と捉えているのか。

市長

市ではこれまで「エコ通勤チャレンジ」として、毎週水曜日と毎月の給与支給日に、職員に對して公共交通の利用を呼びかけてきました。今回の取り組みでは、市職員厚生会の積立金を活用し1回500円を上限に交通費を支給することで、より積極的な利用を促します。

現在、正職員のうち公共交通を利用して通勤している者は1割に満たず、バス利用が15名、鉄道利用が10名です。その他の職員は主に自家用車、歩行、自転車、バイクなどで通勤しています。

公共交通の維持と利用促進は、地域の持続可能性を考える上で非常に重要な課題です。市民の皆さんに利用していただくためにも、まずは職員が率先して使うことが大切だと考えています。私自身も市長就任以降三鉄を利用しておらず、その利便性を実感しています。こうした体験

を通じて、公共交通が生活の一部になるような流れを作りたいと思っています。

### 毎日新聞

今回の公共交通利用促進策は市長の発案によるものか。年度途中の実施だが、新年度以降もこの取り組みは継続されるのか。会計年度任用職員も対象となるのか、また会計年度任用職員の人数はどの程度か。

### 市長

今回の取り組みは、私が就任後に副市長や担当課と相談し、「職員が公共交通を使う機会をつくろう」と提案したことがきっかけです。年度途中の実施となったのは、冬季は忘年会・新年会などで公共交通を利用しやすい時期であり、試験的に導入するには適していると判断したためです。

また、今回は普段公共交通を利用していない職員に体験してもらうことを目的としており、令和8年2月までの期間限定で実施します。会計年度任用職員も対象に含まれており、厚生会の予算から支給されます。会計年度任用職員は、4月1日現在で453名在籍しています。

### 河北新報

他の自治体でも同様の公共交通利用促進策は実施されているのか。支給対象日を毎週水曜日と給与支給日に設定している理由は。普段から公共交通を利用している職員について、通勤手当は全額支給となっているのか。

### 市長

近隣自治体では、本市と同様の公共交通利用促進の取り組みは実施されていません。支給対象日の設定については、もともと毎週水曜日と給与支給日をノーカンフリーデーとしており、公共交通の利用をより現実的にするため、残業の少ない日を設定したものです。

公共交通機関を利用する場合の通勤手当は、バスや鉄道の定期券を全額支給しています。

### 読売新聞

これまでの「エコ通勤チャレンジデー」と今回の取り組みの違いは。実施日は市が指定するのか、職員自身が選ぶのか。

### 市長

「エコ通勤チャレンジデー」は意識啓発を目的とした呼びかけのみで、金銭的支援はありませんでした。今回の取り組みは、費用支援を行うという点で異なります。また、実施日は市が一律に指定するのではなく、職員自身が水曜日または給与支給日から選んで利用することになります。柔軟に選べることで、より多くの職員が参加しやすくなることを期待しています。

## «催事1. 第54回宮古鮭まつりについて»

### IBC

全国的に鮭が不漁で、先日実施された田老の鮭・あわびまつりでも品切れになる店舗が多かったようだが、宮古市における鮭の水揚げ状況はどうか。

## 市長

11月10日時点での鮭の水揚げ量は、前年の年間総量と比較すると 99.3%、水揚げ尾数としては昨年が 8,078 尾、今年は同日時点で 8,023 尾となっています。宮古市内で獲れた鮭だけではイベント需要をまかなえないため、市内の事業者が北海道からの買い付けを行い、新巻鮭などの加工品として確保し、鮭まつりでの販売に対応している状況です。

## 朝日新聞

鮭の水揚げのピークはいつ頃になるのか。また、鮭の水揚げのピークにあわせて、鮭まつりの開催時期を見直す予定はあるのか。

## 市長

鮭の水揚げには「早期群」と「後期群」があり、宮古はもともと後期群が中心です。しかし、近年は温暖化の影響などにより遡上時期が遅れ、ピークが年明けにずれ込む傾向が続いています。かつては12月がピークでしたが、現在では1月以降にずれ込むことが多く、全体の水揚げ量も減少傾向にあります。

鮭まつりの開催時期については、現時点では見直しの予定はありません。

## «その他1. キャトル宮古解体後の跡地利活用について»

### 毎日新聞

「キャトル宮古」の解体が来年 1 月から始まる予定ですが、その後の跡地の利活用について、現時点での方向性やスケジュールはどうか。また、市民への説明はどのように実施する予定か。

## 市長

キャトル宮古の建物は、1月から解体工事を開始し、来年度中に完了する予定です。その後の利活用については、1月下旬から2月上旬にかけて市内各所でタウンミーティングを開催し、市民の皆さんに市の考え方をお示しする予定です。

ただし、すぐに具体的な整備計画を示すのは難しく、まずは「こんな形が考えられる」というイメージ図などを提示し、それをたたき台にして市民の皆さんと意見交換を重ねながら、段階的に具体化していきたいと考えています。

整備計画の策定や実施設計に入るのはもう少し先になる見込みです。周辺には民間の土地や建物もあるため、市だけで完結する事業ではなく、公民連携の形で進めていく必要があります。関係者と連携しながら取り組んでいきたいと考えています。

## «その他2. 県立高校再編に係る市長の受け止めについて»

### 毎日新聞

宮古水産高校の統合に関する施設整備の入札不調などにより事業が 2 年間遅れる見通しどうなっている。この現状について、市長としてどのように受け止めているか。また、統合とい

う方向性そのものについて、どのような見解を持っているか。

### 市長

高校再編については、岩手県が主体となって進めている事業であり、私としてはその方針の是非を論じる立場にはありません。県は各方面に説明を行ったうえで、統合という選択をされたと理解しています。

ただし、私が強く申し上げたのは、今現在その学校に通っている生徒たちが、安心して学べる環境をしっかりと整えていただきたいということです。統合の準備が遅れることによって、教育環境に不安が生じるようなことがあってはならないと考えています。

事業の遅れについては、入札不調などの事情があると聞いていますが、私自身はその遅れに対して批判的な立場を取るつもりはありません。むしろ、時間がかかったとしても、結果として生徒たちにとってより良い学びの場が整うのであれば、それが何よりだと思っています。

地域事情や教育の将来を見据えたうえで、県が選んだ道であることを尊重しつつ、市としても必要な協力は惜しまない姿勢で臨んでいきます。

# 令和7年12月 定例記者会見

日 時 令和7年11月25日（火）午後1時30分

場 所 宮古市役所4階特別会議室

## 《項目》

### 《施策》

1. 市職員公共交通利用促進プロジェクト (公共交通推進課)

### 《催事等》

1. 第54回宮古鮭まつり (観光課)  
2. 第17回宮古地区学生研究・意見発表会 (企業立地推進課)  
3. 第2回市民交流フェス (市民協働課)  
4. 宮古うみねこ丸「令和8年初日の出クルーズ」 (観光課)  
5. 令和8年宮古市20歳のつどい (生涯学習課)

# 『市職員公共交通利用促進プロジェクト』(庁内事業)

Miyako City



## 『みんなでつくる みんながつながる 公共交通』(宮古市地域公共交通計画スローガン)

これまで、宮古市職員の公共交通利用促進及び環境負荷軽減を図るため、毎月水曜日と給料日を『**公共交通チャレンジデー**』として、公共交通機関の自発的な利用を勧める取り組みを、実施してきました。

この度、更なる実践的な取り組みとして『**市職員公共交通利用促進プロジェクト**』を実施することといたしました。

**実施期間:**令和7年12月1日～令和8年2月28日(3ヶ月間)

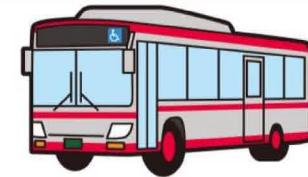
**実施月日:**毎月1回／いずれかの水曜日(計3回)

**対象機関:**三陸鉄道・岩手県北バス・JR山田線

**対象職員:**宮古市役所全職員(平常の通勤に公共交通を利用している者を除く)

**実施内容:**

- 指定実施月日の通勤に、公共交通を利用するよう**全市職員**に勧奨
- 利用に係る交通費は、宮古市職員厚生会予算で**1往復500円**を支給 ※1
- 市職員の積極的な利用による利用促進、公共交通の利便性を喚起



※1 宮古市職員厚生会予算は全額市職員の給与からの積み立て金で運営されています

**【担当】企画部公共交通推進課 公共交通推進係  
総務部総務課 給与厚生係**

**☎68-9134  
☎77-5020**

第54回

宮古

鮭

まつり

## 鮭のれん市

冬の宮古の風物詩である  
新巻鮭を中心に、  
いくらや鮭の加工品など  
海の恵みが勢揃いします。

まけにまつわる景品が当たる!  
**大抽選会**

★会場内でお買い上げ 1,000 円毎に  
抽選券 1 枚進呈!!  
★13:30 にステージにて当選者発表!!

サーモン君  
じゃんけん大会  
11:00～ 12:30～  
サーモン君に勝って  
景品をゲットしよう!

11/15  
14:00～

## 新巻鮭作り体験

開催場所

宮古市重茂水産体験交流館  
えんやあどっと

移動方法

宮古駅前 13:00 発シャトルバスで移動

参加料金

11,000 円 / 1 名 (体験料、材料費、発送費込)

持参品

長靴、エプロン

先着 20 名様  
要予約

予約はコチラ→

予約締切  
11月7日金

会場内での体験

鮭を捌く ▶ 塩を塗り込む

重茂漁協で乾燥、仕上

げ後、ご自宅へお届け

## 会場案内図



2025.12.7 日  
10:00～14:00

会場 宮古市魚市場特設会場

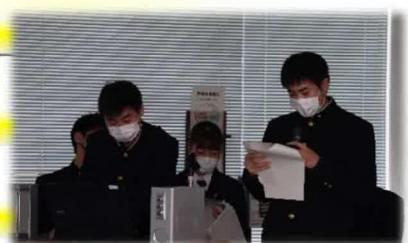
# 学生たちが描く まちの未来 がここにある

宮古地区の学生が日頃の研究成果や学校・グループでの取り組み等を発表します。



### ■発表校

宮古高等学校



宮古商工高等学校（工業校舎）

宮古水産高等学校

宮古北高等学校

岩泉高等学校



問い合わせ 宮古市企業立地推進課 TEL:0193-68-9089

主催:宮古市

■後援 岩手県沿岸広域振興局、宮古・下閉伊モノづくりネットワーク人材育成専門部会、  
宮古金型研究会、宮古商工会議所、一般社団法人宮古観光文化交流会、  
宮古市教育委員会

## ■発表内容の概要■

### ①宮古高等学校 1年

テーマ	宮古市をもりあげよう！～駅前リニューアル作戦～
概要	他市町村の先行事例と地域経済分析システム（RESAS）から宮古市をデータから分析した結果から、駅前の土地利用による宮古の活性化を考えました。

### ②宮古高等学校 1年

テーマ	地域間交流でつなぐまちづくり
概要	地域活動の担い手が不足し、商店街からにぎわいが失われている現状に対し、解決策を考えました。

### ③宮古高等学校 1年

テーマ	被災地訪問から考える現状と課題
概要	宮古近隣の被災地を訪問して感じた現状と課題について発表します。

### ④宮古高等学校 音楽部

テーマ	「つながる」絆合唱団の活動紹介
概要	「沿岸地域を合唱で盛り上げる」を目標に、久慈高校・宮古高校・釜石高校音楽部が力を合わせて活動しています。

### ⑤宮古高等学校 定時制3・4年

テーマ	宮古の魅力を伝え、地域を活性化しよう！（SNSによる発信）
概要	高校生の視点によるSNS（インスタグラム）での発信を通し、地域の魅力を外部に伝える昨年度からの取り組みについて発表します。

### ⑥岩泉高等学校 1年

テーマ	岩泉高校KIZUKIプロジェクト～地域に支えられ、地域を支える学校を目指して～
概要	今年度の岩泉高校の総合的な探求の時間は、1・2年生を2つのグループに分け、高校生の視点で高校生にできることを実践しています。本日は、これまでのKIZUKIプロジェクトの実践内容とその結果、課題について発表します。

### ⑦宮古北高等学校 1年

テーマ	より良い三陸鉄道に向けて一高校生によるダイヤ提案
概要	通学時間帯における利用状況に注目し、実用性やコスト面などの視点から複数のダイヤ改善案を比較・検討しました。これからの三陸鉄道の将来について一緒に考えてみましょう

### ⑨宮古水産高等学校 3・1年

テーマ	三陸宮古のウニログ～アウトレットウニの畜養記録・続編 一步先へ～
概要	宮古市水産課と田老町漁業協同組合の指導と協力のもとで、磯焼けの原因である除去ウニ（アウトレットウニ）の畜養に成功しました。今回ウニの試食を通して関係者皆様から評価をいただき、参考にして商品価値の向上に取り組みました。

### ⑩宮古水産高等学校 3年

テーマ	自由に生きたい、高校生
概要	高校生は、SNSや学歴、周囲の期待など目には見えないプレッシャーの中で生きています。「こうあるべき」にとらわれず、自分らしく生きるための方法を私の今までの経験を交えて発表します

### ⑪宮古水産高等学校 3年

テーマ	宮水SDGsプロジェクト！
概要	家庭クラブとして今年度取り組んだ廃油活用と海図バッグ作りについて

### ⑫宮古商工高等学校（工業校舎）

テーマ	（課題研究発表会後決定※12月上旬にテーマ確定）
概要	

## 第2回市民交流フェス開催要項

### 1. 目的

まちなかの賑わいづくりのイベントを市民が主体となって実施し、市民活動の活性化、市民交流、学びの場としての市民交流センターの利用促進を図る。

### 2. イベントタイトル

第2回市民交流フェス

### 3. 開催日時

令和7年12月20日（土）10時～15時30分

### 4. 会場

宮古市市民交流センター

宮古市宮町一丁目1番30号 TEL 0193-63-4166

### 5. 開催内容

企画名/実施者	時間等	内容・会場
海外版福笑い ファニーフェイス / 宮古市国際交流協会	10:00～15:30	日本でも馴染みのあるゲームと母国の紹介展示を通して、海外文化に触れる 会場：創作スタジオ（2階）
沿岸ピラティス・フェス / Coast Pilates	①10:00～11:00 ②11:30～12:30 ③13:00～14:00 ④14:30～15:30	宮古市を含む沿岸市町村で活動するインストラクターによる ピラティス体験 会場：運動スタジオ1・2（2階）
音の小瓶フェスティバル / 個人	12:00～15:00	市内で音楽活動等をする複数の団体の演奏などのステージ 会場：交流プラザ（1階）
三師会バンド クリスマス コンサート in イーストピア みやこ / 三師会バンド	14:30～15:30	医療関係者で構成するバンドの コンサート 会場：多目的ホール（2階）

# 宮古うみねこ丸 令和8年 初日の出クルーズ



令和8年1月1日 出崎ふ頭 午前6:30出航

運賃(税込) 大人:2,500円 小人:1,500円

募集定員 80名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

◆乗船特典

- ①本州最東端のまち訪問証明書
- ②紅白の御餅
- ③携帶用カイロ
- ◆天候・海面の状況により運行できない場合は、前日12月31日の午前9:00に決定します。
- ◆出崎ふ頭にて乗船券販売 午前6:00から 乗船開始 午前6:15から

※待合室はございません。船内客室にも限りがありますので、防寒対策を施してお越しください。

【ご予約(電話・窓口のみ)/お問い合わせ】

岩手県北自動車(株)宮古遊覧船事業部  
〒027-0004 岩手県宮古市臨港通1-20  
シートピアなあと内 火曜休(9:00~16:00)  
TEL.0193-65-8856



## 令和8年宮古市20歳のつどいについて

### 1 日 時

令和8年1月11日(日) 午後2時から3時

### 2 会 場

宮古市民文化会館

### 3 主 催

宮古市・宮古市教育委員会

### 4 対象者

427人(男213人、女214人)

### 5 次 第

(1) 開式

(2) 国歌斉唱

(3) 宮古市民歌斉唱

(4) 宮古市市民憲章朗読 実行委員4名(50音順)

久保田 美咲、佐々木 那奈、関口 菜々美、戸塚 悠仁

(5) 式辞 宮古市長 中村 尚道

(6) 祝辞 宮古市議会議長 橋本 久夫 様

(7) 20歳の誓い 実行委員2名(50音順)

東館 俊弥、裏岩 里桜

(8) スライドショー 「振り返ってみよう20年」

(9) アトラクション FUNNY THINK(県内出身3人組ロックバンド)

(10) 閉式

※欠席者や家族のため式典の模様を YouTube でライブ配信。

### 6 問い合わせ

市生涯学習課 社会教育係 TEL68-9119